

# 一般會計，特別會計

# 1 平成30年度当初予算の概要

## (1) 基本的な考え方

### 「欲張りなライフスタイル」の実現を目指して

- ◆ 県民のみなさんが仕事や暮らしに抱く希望をあきらめることなく追求することができる「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた取組によって、変化の兆しや成果が現れつつある。
- ◆ これらの成果等をより確かな軌道に乗せ、次のステージにつなげていくためには、これまでの取組を着実に進めていくとともに、社会環境の変化に的確に対応していく必要がある。
- ◆ 今後、生産年齢人口割合の長期的な低下や第4次産業革命の進展による社会経済システム自体の変革などが予想される。  
こうした環境の変化に対応して、意欲のある働き手の雇用場をつくり、様々な状況にある人々が仕事と暮らしを追求し、個性と能力を発揮することができる「欲張りなライフスタイル」に支えられた経済・社会を構築していくことが必要である。
- ◆ このため、「欲張りなライフスタイル」の実現に向けて、「イノベーション」「ファミリー・フレンドリー」「都市と自然の近接ライフ」という3つの視点を広島県独自の強みとしながら、施策全体の統一性を持って最大限の効果が得られるよう取組を進めていく。

## ■会計別予算規模■

一般会計	9,539億円	前年度比 ▲ 240億円 ▲ 2.5%
特別会計（12会計）	6,055億円	前年度比 +2,881億円 +90.8%
公債管理特別会計	3,126億円	前年度比 + 283億円 +10.0%
企業会計（4会計）	605億円	前年度比 + 10億円 + 1.7%
土地造成事業会計	88億円	前年度比 ▲ 5億円 ▲ 5.0%

※ 企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計である。

## (2)「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた施策体系

### 希望をかなえるための後押し

- ・すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり
- ・社会で活躍する人材の育成
- ・少子化対策
- ・女性の働きやすさ日本一への挑戦
- ・多様な人材の就職に向けた後押し

### ゆとりの創出

- ・働き方改革
- ・第4次産業革命を好機とした生産性革命
- ・中小企業・小規模企業の持続的な成長への支援
- ・イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化
- ・多様な創業と新事業展開の促進
- ・多様な投資誘致の促進
- ・産業競争力の強化
- ・世界と直結するビジネス支援
- ・観光地ひろしまの推進
- ・瀬戸内 海の道構想の推進
- ・担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立
- ・信頼される医療・介護提供体制の構築
- ・がん対策日本一に向けた取組の強化
- ・健康医療情報等を活用した健康づくりの推進

### 地域活力の基盤づくり

- ・中山間地域の地域力強化
- ・都市圏の活力強化
- ・東京圏等から広島への定住促進

### 暮らしを楽しむ機会の創出

- ・スポーツを核とした地域づくり
- ・暮らしを楽しむための機会の創出に向けた取組の推進

### 災害に強いまちづくり

- ・ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策
- ・減災に向けた県民総ぐるみ運動の展開

### 広島の価値の共鳴・共振

- ・国際平和拠点ひろしまの形成
- ・「ひろしま」ブランド価値向上の推進

### 3つの視点で欲張りなライフスタイルを実現

「イノベーション」  
「ファミリー・フレンドリー」  
「都市と自然の近接ライフ」

行動の変容  
H29～

成果獲得  
(目標の達成)  
H32

共感の獲得  
H28～

これまでに生まれた  
成果・変化

ビジョンの策定 H22

「仕事でチャレンジ！  
暮らしをエンジョイ！  
活気あふれる広島県」  
の実現

これまでの成果と変化を「実感」し  
目指す姿への「共感の獲得」から  
希望の実現に向けた「行動の変容」へ

### (3)「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた取組のポイント

#### ① 希望をかなえるための後押し

人口減少、少子高齢化の時代にあつて、広島県に多くの人が集まり、県民みんなで子供たちを育み、全ての県民が生き生きと活躍できる「欲張りなライフスタイル」の実践に向けて、希望をかなえ、ゆとりを創り出す活動を行うための後押しとなるよう、成育環境の違いにかかわらず、すべての子供が健やかに夢を育むことのできる社会づくりに取り組む。

また、様々な変化に対応し、社会で活躍できる人材の育成について、乳幼児期から社会人まで一貫した取組を行うとともに、少子化対策、女性の活躍促進に取り組むほか、仕事を望む県民のみなさんが、希望する仕事に従事できるよう、年齢やキャリア等に応じた就業支援に取り組む。

#### ② ゆとりの創出

県民のみなさんの様々な「欲張りなライフスタイル」を実現するには、その基となる「時間的ゆとり」「経済的ゆとり」「心身ともに健康であること」が重要であることから、これらの「ゆとり」を創り出すための取組を推進する。

時間的ゆとりの創出のため、個人の状況やライフスタイルに応じた多様な働き方ができるよう、働き方改革を推進するとともに、子育てや介護に係る負担感の軽減につながる取組を推進する。

経済的ゆとりの創出のため、第4次産業革命への対応を進めるとともに、持続的なイノベーションを創り出していくための基盤強化や、地域経済を支える中小企業・小規模企業の持続及び成長に向け、平成29年10月に制定された「広島県中小企業・小規模企業振興条例」を踏まえ、総合的な支援を行っていく。また、ものづくり産業の集積や多様な農林水産資源、豊富な観光資源などを生かして、産業振興や雇用創出などに取り組む。

また、健やかで心豊かに生き生きと暮らし続けるため、県民のみなさん自らが、健康の保持・増進と介護予防に向けた行動変容を起こしていくことを促す環境を整備し、健康寿命の延伸を図っていく。

#### ③ 地域活力の基盤づくり

県民のみなさんが「欲張りなライフスタイル」を実現するためには、それぞれの住んでいる地域に活力があり、人々が生き生きと暮らせる環境をつくり出す必要がある。そのため、都市と自然が近接している本県の特徴を生かしながら、中山間地域の活性化や都市圏の活力強化に取り組むとともに、高まりつつある地方移住の機運を取り込んで移住・定住の促進などに取り組む。

#### ④ 暮らしを楽しむ機会の創出

県民のみなさんの暮らしを楽しむ機会をより多く創り出すため、アウトドアを楽しめる自然環境、豊かな食、県立美術館、広島交響楽団、多様なプロスポーツをはじめとする県内の文化・芸術・スポーツ資源、世界に認められた豊富な観光資源などを有効に活用しながら、誰もが気軽に楽しむことができるコンテンツの充実や質の向上、仕組みづくりを進める。

#### ⑤ 災害に強いまちづくり

近年、頻発する集中豪雨等による自然災害を踏まえ、早期の復旧・復興に向けた取組を進めるとともに、ハード・ソフトが一体となった計画的な防災・減災対策や既存インフラの適切な維持管理等の推進、減災に向けた県民総ぐるみ運動の展開など、災害に強いまちづくりに取り組む。

#### ⑥ 広島の価値の共鳴・共振

一昨年のおバマ米国大統領の歴史的な訪問を契機に、世界から広島へ注目が高まっていることから、ひろしまブランドコンセプトの一つである「平和への希望が集う場所」としての価値を更に高めていくためにも、広島からの核兵器のない平和な世界の実現に向けた取組を進めていく。

その他の3つのコンセプトや、広島の地域資産であるスポーツ、文化などとの相乗効果とも併せて、広島の価値に対する県民の共感の獲得(=共鳴)と、広島の国内外での認知・評価の向上(=共振)につなげる。

## (4) 国の補正予算を活用した平成29年度2月補正予算との一体的な編成

国の補正予算を活用した平成29年度2月補正予算と一体的に予算編成し、「欲張りなライフスタイルの実現」に取り組む。

### 【予算規模等 [一般会計ベース]】

#### 平成30年度当初予算

9,539 億円 対前年度比▲240 億円

【広島市への税源移譲の影響※を除くと対前年度比▲33 億円】



国の補正予算を活用した平成29年度2月補正予算164 億円と一体で編成

#### 平成30年度当初予算+平成29年度2月補正予算(国の補正予算活用分)

9,703 億円 対前年度比▲76 億円

【広島市への税源移譲の影響※を除くと対前年度比+131 億円】

### 【「欲張りなライフスタイルの実現」に向けた主要事業】

重点施策	事業費	平成30年度 当初予算	平成29年度 2月補正予算
希望をかなえるための後押し	113 億円	113 億円	—
ゆとりの創出	112 億円	109 億円	3 億円
地域活力の基盤づくり	8 億円	8 億円	—
暮らしを楽しむ機会の創出	3 億円	3 億円	—
災害に強いまちづくり	331 億円	211 億円	120 億円
広島の価値の共鳴・共振	4 億円	4 億円	—
計	571 億円	448 億円	123 億円
対前年度比	—	+52 億円	—

※ 教職員給与負担権限の広島市への移譲に伴い、平成30年度から個人県民税所得割の税率2%相当分を県から広島市へ税源移譲するものであり、その影響額は歳入(県税)▲207億円、歳出(広島市への個人県民税所得割交付金)▲207億円である。